

1 横瀬町寺坂地区 ～中山間地域等直接支払制度

ふりがな	よこぜまちてらさかしゅうらく
地区名	横瀬町寺坂集落

実施した特色ある活動

①取組の経緯

昭和50年頃までは大部分の田で稲作が行われており、昔ながらの田園風景だった。しかし、時代の流れと共に、減反政策や後継者不足などの理由から耕作放棄地が年々増加し、平成10年頃には地権者約50戸の内、耕作する者はわずか4戸となり、雑草・雑木が生い茂り荒れ果てていた。

武甲山を望む里山地域の無残な姿に、昔のようなきれいな寺坂棚田を復元しようという気運が田の所有者たちの間で高まり、農家や行政関係者などによるワークショップの結果、棚田の復元方法については農家だけでなく、学校という形を取って都市住民と共に行っていこうという結論に至った。

地元農家を中心となり寺坂棚田学校を開校し、まずは学校としての活動ができるよう、草刈や抜根など、荒れ果てた田の整備から取り組み始めた。

②取組内容

田の所有者を中心とする農業者が先生となり、公募による60名以上の県内外の都市住民の参加者(生徒)と共に、耕耘、代掻き・田植え・草取り・防鳥・稲刈り・脱穀などをおとした稲作体験と、収穫祭・かがり火祭りなどのイベントを行っている。

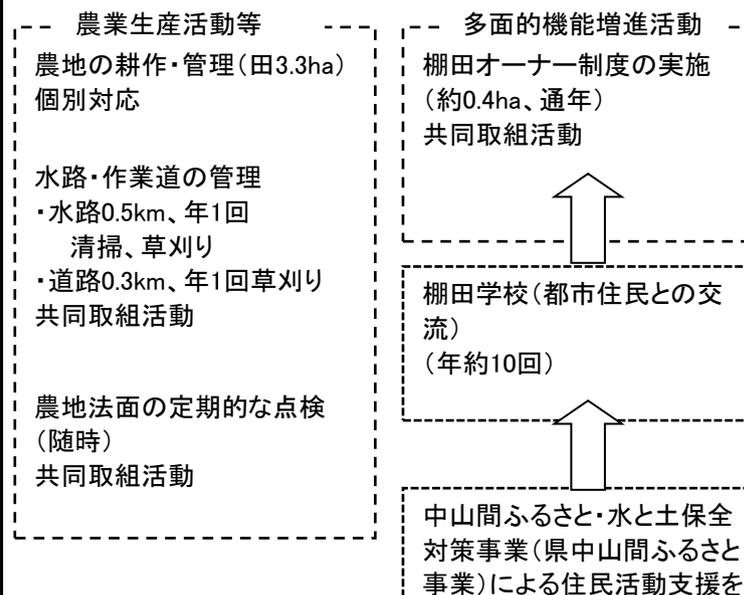
この他にも、雑草・雑木刈り、用水路・畔路の補修などの作業を行い、農地の保全管理に取り組んでいる。

【集落の将来像】

○ 水路、農道等を計画的に整備、維持管理し、棚田を生かした田園風景を観光スポットとして形成するとともに、都市住民との交流活動により、多様な担い手を形成する。

【将来像を実現するための活動目標】

○ 農用地の管理、生産性の向上、担い手の定着



集落外との連携

○都市住民を対象とした棚田学校(年約10回)を開催し、その卒業生を対象に棚田オーナー制度を展開している。